

たねやま種雄牛だより

Since 2004.4

岩手県農業研究センター畜産研究所種山畜産研究室 TEL: 0197-38-2312 FAX: 0197-38-2177

令和2年度直接検定が終了しました！

6月15日をもちまして、8頭全頭の検定が終了しました。直接検定での発育、体型などの成績を基に、この中から3頭が次の現場後代検定へと進むこととなります（選抜結果は次号）。以下に検定牛の成績・特徴を紹介します！

検定番号	名号	全期間DG	体高(cm) (σ値)	得点	美点	地域
1	元裕	1.03	120 (-0.6)	83.5	体上線、体伸、体深、肢蹄	中央
2	奥州840	1.26	131 (2.6)	84.2	体幅、尻幅、やや肢蹄、やや皮膚ゆとり	県南
3	春瀬気高	1.04	123 (0.7)	84.4	均称、体伸、肢蹄	中央
4	菊福茂	1.16	124 (0.6)	83.8	体伸、骨締り、被毛の密度	県南
5	花金福	1.13	123 (1.0)	83.1	発育、体伸、皮膚ゆとり、腿の充実	県南
6	清乃福秀	1.06	128 (1.4)	83.7	発育、体伸、体深、骨味	県南
7	隆照	1.23	128 (2.1)	84.1	発育、体伸、腿幅	県南
8	重桜	1.18	127 (0.9)	84.2	体伸、体深、後躯	中央

👉 検定終了時の側貌写真、各候補牛の特徴を裏面に掲載しています！

<直接検定とは？>

7～8か月齢の雄牛について、体重を2週間ごとに、体型を4週間ごとに測定し、112日間の増体量、飼料摂取量および飼料効率を調査することで、発育能力や飼料利用性などについて評価するものです。

検定中の飼料給与方法については、乾草（イネ科のみ）を飽食とし、配合飼料は直接検定用として指定された飼料を体重の1.0～1.3%を目安に朝夕2回給与することなどが定められています。

~~ 県有種雄牛枝肉情報 ~~

第29回いわて牛枝肉研究会

東京食肉市場
R 3. 6. 22

性別	父	母の父	生後 月齢	枝肉重量 (kg)	ローズ芯 面積 (cm ²)	バラ厚 (cm)	皮下厚 (cm)	歩留 基準	BMS NO.	格付	入賞
去勢	菊福秀	安福久	31.4	567	87	10.0	2.2	78.3	12	A5	最優秀賞
	花金幸	美津照重	29.0	567	69	9.1	1.6	75.9	10	A5	
	花安勝	百合茂	29.2	473	69	8.2	2.1	76.1	9	A5	
	北真鶴	百合勝安	29.5	507	64	8.2	2.3	74.8	6	A4	
雌	花安勝	菊福秀	31.2	438	84	9.3	2.0	79.3	11	A5	
	花安勝	菊福秀	33.4	462	64	9.7	4.9	74.0	10	A5	
	菊安舞鶴	諒太郎	30.4	465	76	8.1	1.7	77.4	9	A5	
	菊福秀	安福久	29.2	482	75	8.1	2.3	76.5	8	A5	
	菊福秀	勝早桜5	30.0	442	66	8.2	2.8	75.4	7	A4	
	花安勝	勝忠平	30.7	512	64	8.8	4.2	73.5	7	A4	
	花安勝	菊福秀	30.2	461	57	8.4	4.5	72.6	6	A4	
	菊福秀	平茂晴	30.4	512	55	8.8	3.8	72.6	4	A3	
去勢(36頭)平均			30.8	556	79	8.8	2.5	76.3	上物率		
雌 (24頭)平均			30.2	460	67	8.3	2.9	75.3	95.0%		

★ 昨年(前回)より上物率の低下(▲1.6%)はありましたが、去勢、雌ともにローズ芯が大きく、バラが厚く、皮下が薄くなり、歩留は1%程度上昇しております。

★ 第12回全国和牛能力共進会情報

あと15か月

6月25、28、30日に、第6区(総合評価群)の候補である「暁雲」、「美津福勝」、「結乃宝」及び第7区(脂肪の質評価群)の候補である「菊勝久」の産子、計58頭(15戸)を対象に、関係機関・団体による巡回(増体・発育の確認、血液検査のための採血)を実施しました。

次回の巡回は、超音波肉質画像診断を調査項目に追加し、9月末から10月上旬に実施する予定です。



胸深を確認中! 発育は順調でしょうか?

◎ 次号(令和3年8月:第209号)は…

令和5年度開始現場後代検定牛(未来の県有種雄牛候補牛)紹介

県有種雄牛枝肉情報

を掲載予定です!! (8月市場等で配布)

中央地域産子

『元裕』『春瀬気高』は、種牛性の高い育種牛（雌牛）から生産された候補牛であり、なかでも『春瀬気高』は、終了時の体型得点で同期牛中1位の成績でした。

『重桜』は、ロース芯面積や脂肪交雑のゲノム育種価が高い基礎雌牛に「美津照重」を交配して生産された候補牛であり、肉質に優れた種雄牛候補として期待されます。

3頭とも、検定期間中の1日当たりの増体量（D.G）が1.0を超え、順調な発育を示しました。

1
元裕



裕徳×寿高×百合茂

3
春瀬気高



百合気高×山根雲×平茂勝

8
重桜



美津照重×勝早桜5×安福久

県南地域産子

『奥州840』は、期間中D.G.、体高ともに同期牛中1位であり、高い増体能力が期待できます。

『菊福茂』は、3代祖が「菊福秀」、父が「菊勝久」という血統構成であり、高い産肉能力が期待される1頭です。

『清乃福秀』は、きょうだい牛が5等級を連発しており、名牛「菊福秀」後継牛候補として期待の1頭です。

『花金福』は、ロース芯面積、歩留、脂肪交雑に優れる基礎雌牛「みきてい3」に枝重、バラの厚さに優れる「花金幸」を交配して生産された候補牛です。

『隆照』は、同期牛「重桜」と同様に、ゲノム育種価が高い雌牛から生産された候補牛であり、高い脂肪交雑能力が期待される1頭です。

5頭とも、検定期間中のD.G.が1.0を超え、良好な発育を示しました。

2
奥州
840



百合茂×平茂晴×平茂勝

4
菊福茂



菊勝久×第2平茂勝×菊福秀

5
花金福



花金幸×安福久×安平

6
清乃福秀



菊福秀×百合茂×北国7の8

7
隆照



美津照重×隆之国×安福久

※ 名号の上部数値（1～8）は検定番号となります。

※ 背景色及び1代祖～3代祖は、父系系統で色分けしております。

赤色：兵庫系（田尻系）

青色：気高系

緑色：糸桜系

【種山種雄牛だより】【子牛市場成績】のバックナンバーは、岩手県の公式ホームページ上でご覧いただけます。“岩手県有黒毛和種”で検索してください。



← こちらの QR コードからもアクセスできます！！

Facebook アカウント“いわて畜産振興ネット” →

